

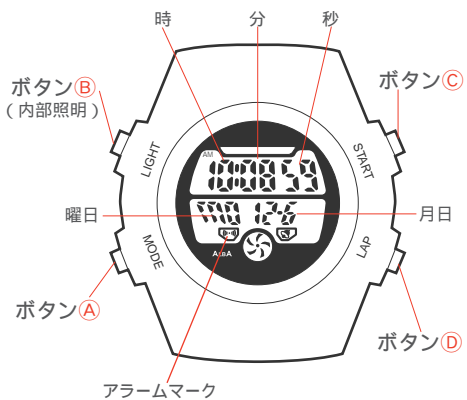
## 特長

この時計は、時刻・カレンダー表示機能(時・分・秒・日・月・曜日)の他に以下の機能を備えています。

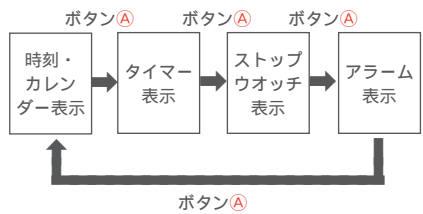
フルオートカレンダー機能  
うるう年の2月29日もふくめ、月末のカレンダー修正の必要がありません。(1998年 - 2048年)  
アラーム機能 1日に1回鳴る、アラームの設定ができます。時報も設定できます。サウンドデモンストレーションができます。  
**サウンドデモンストレーション。アラーム音を試し聴きできる機能のことで。**  
ストップウォッチ機能 9時間59分59秒99まで計測できます。ラップ計測機能でラップタイムを計る事ができ、ファ

ーステストラップタイムを計測したときはLEDが発光して知らせます。  
タイマー機能 1分単位で23時間59分まで設定できます。  
デュアルタイム機能 異なる1地域の時刻を設定・表示する事ができます。  
内部照明機能 ボタンBを押すと内部照明が点灯します。約5秒間の残照式です。  
TWIN-LED (Light-Emitting Diode) を利用した発光方式です。また、アラーム、タイマー報音等のタイミングに合わせて自動発光します。

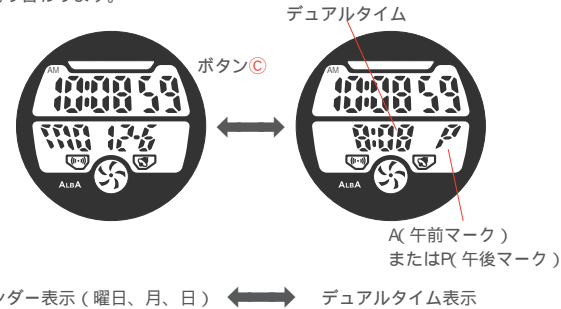
## ボタンの名称と表示の切り替え



どのボタンも、どの表示でもアラームの鳴りどめになります。  
ボタンAを押すごとに次の順序で切り替わります。(モ・ドマークが各表示に合わせて図のように切り替わります。)



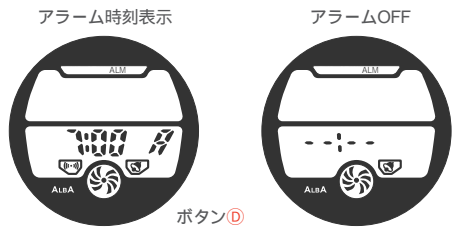
時刻、カレンダー表示の時、ボタンCを押すごとに次の順序で下段の表示が切り替わります。



デュアルタイム表示にした状態のままボタンAを押して表示を切り替えると、デュアルタイム表示は解除されカレンダー表示に戻ります。

## 時刻とカレンダーの合わせかた

また、ボタンDを押しているあいだ、下段にアラーム設定時間が表示されます。アラームがセットされていない時は(アラームOFFの時) ---が表示されます。



それぞれの表示で、ボタンAを2~3秒間押し続けるとそれぞれの表示の合わせになります。合わせ状態でボタンAを押すと各表示に戻ります。

- ボタンAを押して時刻・カレンダー表示にしてください。
- ボタンAを2~3秒間押し続けて時刻・カレンダー合わせにしてください。(秒表示が点滅します。)
- この状態で1~2分間操作をしないと時刻・カレンダー表示に戻ります。
- ボタンCを押して合わせたい箇所を点滅させます。
- ボタンDを押して合わせます。ボタンDを1回押すごとに点滅している箇所の数字が1つずつ進みます。(押し続けると早く進みます。)

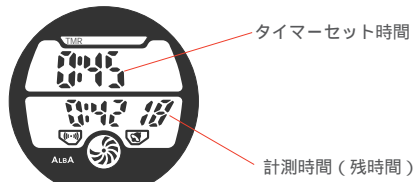


時と分が同時に点滅している場合、12時間制表示と24時間制表示を切り替えます。12時間制表示のときはA(午前)またはP(午後)マークが表示されます。24時間制表示のときはマークは表示されません。  
秒合わせ(秒)を点滅させ時報に合わせてボタンDを押すと、00秒に合います。(秒)が30~59までの時は(分)が1分くり上がって00秒に合います。  
合わせ終わったら、ボタンAを押して時刻・カレンダー表示に戻してください。  
時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンCとボタンDが同時に押された状態です。その場合は、A、C、Dいずれかのボタンを押して、「時刻・カレンダー表示」に戻してください。つぎにあらためて、上記の①から合わせ直してください。

<全点灯表示>

## タイマーの使いかた

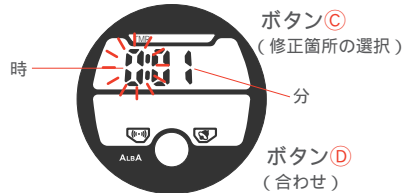
上段にタイマーセット時間、下段に計測時間(残時間)が表示されます。セット時間は5つのプリセットタイマー(45分、30分、15分、10分、3分)と、1分から23時間59分までの1分単位でセット可能なフリータイマーがあります。一度セットしたタイマー時間は何度でも呼び出して使えます。計測時間(残時間)は1秒単位で表示します。



## フリータイマーの合わせかた

- ボタンAを押してタイマー表示にしてください。タイマーが使用中、または途中で止まっている場合は、リセットしてください。  
タイマーが動いている時は…ボタンCを押して表示をとめ、ボタンDでリセット  
タイマーがとまっているときは…ボタンDでリセット

ボタンAを2~3秒押し続けて、タイマー時間合わせにしてください。(時)が点滅します。  
この状態で1~2分間操作をしないと自動的にタイマー表示に戻ります。



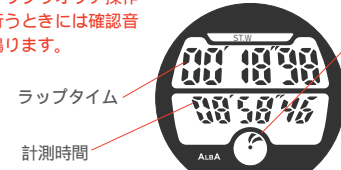
- ボタンCを押すごとに、点滅する場所が変わります。(時) (分) (時)の順序で点滅箇所が変わります。
- ボタンDを押して合わせます。1回押すごとに点滅しているところの数字が1つずつ進みます。押し続けると早く進みます。
- 合わせ終わったら、ボタンAを押してタイマー表示に戻してください。

プリセットタイマーの使い方  
ボタンDを押して、タイマー時間を選びます。(45分 30分 15分 10分 3分 フリータイマー 45分 ...)  
フリータイマーをどのような時間に合わせても、上の順番で表示されます。

ボタンCを押すたびに、スタート・ストップができます。(この操作は何回でもできます。)残り3分、2分、1分、30秒、20秒、10秒、3秒、2秒、1秒で報音、LEDが点滅します。終了すると10秒間タイマー終了音が鳴り、LEDが点滅します。鳴っているタイマー終了音を途中でとめるには、ボタンA、B、C、Dのいずれかを押してください。この鳴りどめの操作はどの表示の時でも可能です。

## ストップウォッチの使いかた

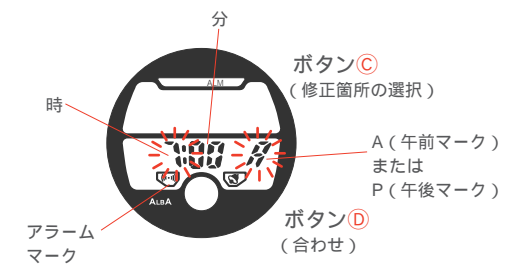
1/100秒単位で計測表示します。最大計測時間は、9時間59分59秒99です。(時は以下の図のとおりに表示されます。)  
10時間を計測すると表示が00秒に戻ります。  
セットした時間の経過後、自動的に計測をスタートするオートスタート機能があります。  
ストップウォッチ操作を行うときには確認音が鳴ります。



- ボタンAを押して、ストップウォッチ表示にしてください。
- 使う前に00秒に戻してください。(ボタンDでリセット)  
ストップウォッチが動いている時は…ボタンCを押して表示をとめ、ボタンDでリセット  
ストップウォッチがとまっている時は…ボタンDでリセット
- 長い時間を測るときは、スタート後、時刻・カレンダー表示にしておくで誤操作を防ぐことができます。

## アラームの使いかた

1日に1回鳴るアラームが設定できます。(24時間に1回鳴ります。)  
アラーム時刻の合わせかた  
① ボタンAを押して、アラーム表示にしてください。  
② ボタンAを2~3秒押し続けてアラーム時刻合わせにしてください。(時)とA(午前マーク)またはP(午後マーク)が点滅します。(この状態で1~2分間操作をしないと自動的にアラーム表示に戻ります。)  
③ ボタンCを押すごとに点滅する箇所が変わります。(時) (分) (時)の順序で点滅箇所が変わります。



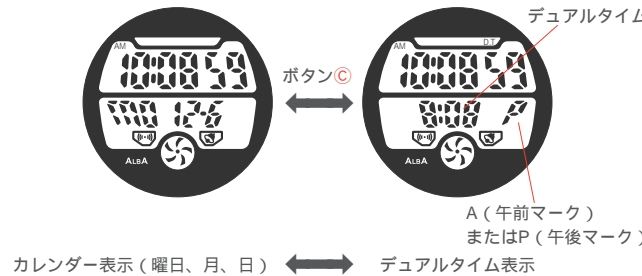
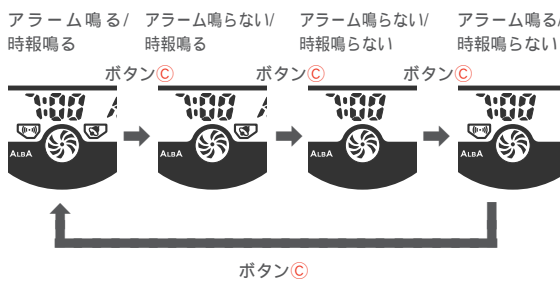
- ボタンDを押して合わせます。1回押すごとに点滅している箇所の数字が1つずつ進みます。押し続けると早く進みます。  
アラームマークが消えていても、アラーム時刻を修正すると自動的にアラームマークが点灯します。  
時合わせのとき、午前(AM)、午後(PM)をよく確認して下さい。
- 合わせ終わったらボタンAを押してアラーム表示にもどしてください。

鳴っているアラームをとめるには  
アラーム設定時刻になると20秒間、報音、点滅を続けます。鳴っているアラームを途中でとめる場合は、ボタンA、B、C、Dいずれかを押して下さい。  
どの表示の時でも、この操作は可能です。  
サウンドデモンストレーション  
アラーム音を試し聴きたい時は、アラーム表示の時に、ボタンCを2~3秒間押し続けてください。押し続けている間アラーム音が鳴ります。  
この操作をした後は、アラームマークと時報マークの状態が変わりますのでアラームの鳴る/鳴らないの設定方法を参照して元の状態に戻して下さい。

## デュアルタイムの使いかた

アラーム・時報の鳴る/鳴らないの設定方法  
アラーム表示でボタンCを押すと次の順序で設定が変わります。それともない、アラームマーク、時報マークがついたり消えたりしてアラーム音・時報のON/OFFを表示します。

時刻の異なるもう一つの地域をセットできます。時刻表示でボタンCを押すごとに、下段の表示がカレンダー デュアルタイム(もう一つの地域の時刻) ...の順序で切り替わります。



## デュアルタイムの合わせかた

- ボタンAを押して時刻・カレンダー表示にしてください。
- ボタンCを押してデュアルタイム表示に切り替えてください。
- ボタンAを2~3秒押し続けてアラーム時刻合わせにしてください。(時)とA(午前マーク)またはP(午後マーク)が点滅します。(この状態で1~2分間操作をしないと自動的にデュアルタイム表示に戻ります。)
- ボタンCを押すごとに点滅する箇所が変わります。(時)(A/P) (分) (時)(A/P)の順序で点滅箇所が変わります。
- ボタンDを押して合わせます。1回押すごとに点滅している箇所の数字が1つずつ進みます。押し続けると早く進みます。
- 合わせ終わったらボタンAを押してアラーム表示に戻ってください。



## VIVIDIGIについて

VIVIDIGI(ビビデジ)は色表現やライト点灯時の光り方で様々な表現を実現した新しい液晶パネルです。

主な特徴として

- 光の透過率、反射率が高く液晶パネルが鮮やかにはっきりと見えます。
- デジット(文字・数字)や液晶の背景全体にカラーや様々な仕上げを施すことができます。
- 画面全体の発光やセグメント(表示内容)のみの発光ができます。

上記の特徴は機種によって異なります。